

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN

電力会社の主要株主および PRI 署名機関に向けた公開質問状及び回答票

団体名：沖縄県

### 質問1：電力会社の株式の保有状況について

以下のいずれの電力会社の株式を保有されていますか。保有されている電力会社すべてについてチェックをつけてください。(平成23年5月末時点の保有状況をベースにご回答ください)

北海道電力 東北電力 北陸電力 東京電力 中部電力 関西電力 中国電力  
四国電力 九州電力 沖縄電力 電源開発株式会社

### 質問2：電力会社に対する投資方針について

今回の福島原発の事故を受けて、電力会社への投資方針を見直していらっしゃいますか(あるいは見直しを予定されていますか)。また見直しをされている(あるいは予定されている)場合、具体的な内容をご回答ください。見直しておらず、今後見直す予定もない場合は、その理由をご回答ください。

A. 投資方針を見直している(あるいは見直す予定である)

→見直しの内容(具体的に)

--

B. 投資方針を見直しておらず、今後見直す予定もない

→その理由(具体的に)

沖縄電力株式会社は県内産業活動の中核企業であり、経営の安定と中立性の維持は経済振興上極めて重要であることから、引き続き株を保有していく予定である。
---

### 質問3：今年度の株主総会における議決権行使について

今年度の電力会社の株主総会のうち、東北電力、東京電力、中部電力、関西電力、中国電力、九州電力の6社において、原子力発電からの脱却および再生可能エネルギーの利用等に関連する議案が提出されています。これらの議案に対してどのように対応されましたか。6月末に開催される株主総会における実際の対応に基づいて、対応の結果とその理由をご回答ください。東北電力、東京電力、中部電力、関西電力、中国電力、九州電力の6社のうち、投資を行っているすべての電力会社について、以下の回答欄ご記入ください。

※1：この6社のいずれにも投資されていない場合は、すべて空欄で結構です。

※2：スペースが足りない場合には適宜回答欄を広げてご記入ください。

#### 【回答欄】

#### 投資先電力会社名：東北電力

議案名	対応結果(「賛成/反対/棄権」のいずれかを記入)	その理由
第5号議案		
第6号議案		
第7号議案		

#### 投資先電力会社名：東京電力

議案名	対応結果(「賛成/反対/棄権」のいずれかを記入)	その理由
第3号議案		

**投資先電力会社名：中部電力**

議案名	対応結果（「賛成／反対／棄権」 のいずれかを記入）	その理由
第6号議案		
第7号議案		
第8号議案		
第9号議案		
第10号議案		
第11号議案		

**投資先電力会社名：関西電力**

議案名	対応結果（「賛成／反対／棄権」 のいずれかを記入）	その理由
第10号議案		
第11号議案		
第14号議案		
第15号議案		
第16号議案		
第17号議案		
第18号議案		
第19号議案		
第20号議案		
第21号議案		

**投資先電力会社名：中国電力**

議案名	対応結果（「賛成／反対／棄権」 のいずれかを記入）	その理由
第4号議案		
第5号議案		
第6号議案		
第7号議案		
第8号議案		
第9号議案		

**投資先電力会社名：九州電力**

議案名	対応結果（「賛成／反対／棄権」 のいずれかを記入）	その理由
第5号議案		
第6号議案		
第7号議案		
第8号議案		

#### 質問4：原子力発電のリスクや代替エネルギーに関する見解について

今回の福島原発の事故を受けて、電力会社に対する投資の際に原子力発電のリスクについてどのように考慮するか、あるいは代替エネルギーとなる再生可能エネルギー事業のポテンシャルについてどのように考慮するか、貴団体として統一的な見解をお持ちでしょうか。またお持ちである場合は、具体的な内容をご記入ください。

■A. 原子力発電のリスクや再生可能エネルギー事業に関する統一的な見解をもっている

→具体的に

沖縄電力株式会社は全国の電力会社で唯一、原子力発電を行っていない地域であり、今後も導入計画の予定はないものと理解している。

また、県内の電気エネルギーの大部分は火力による発電であることから、エネルギー自給率は全国平均と比較しても非常に低い。

そのため、沖縄県では平成22年度に『沖縄県エネルギービジョン』を策定した。

同ビジョンでは「新エネルギー導入割合」、「エネルギー自給率」、「石油依存割合」、「省エネルギー効率改善」の4つの数値目標を掲げ、再生可能エネルギーの積極的な導入を推進していくこととしている。

□B. 原子力発電のリスクや再生可能エネルギー事業に関する統一的な見解はない